

グリーンボランティアならクラブ <会報 35号> 平成20年10月10日発行

事務局：(財)奈良県緑化推進協会内  
〒630-8301 奈良市高畑町1116-6  
TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110  
メールアドレス: gvnc@nifty.com  
ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/gvnc>

● 主な活動の記録

7月6日(日) 里山林整備事業(香芝環境保全)

中部農林振興事務所・香芝市商工農産課の仲介により、当クラブが事業主体となり、森林環境税対象事業として、二上山登山道に隣接する里山(民有地)の景観回復・里山林の機能を高めることを目指し、1haを三年をかけて整備するもの。

本年は0.4ha強を4回に分けて整備する。作業の内容は、枯損木・傾きと込み合っている木の処理、樹冠をあける、伐倒木の玉切り・棚積み、下草刈り、登山道整備等にて多数のクラブ員が参加した。

現地は傾斜がきつく、暑い最中でのしんどい作業ではあったが、徐々にひろがりゆく空間に明るさを取り戻していくのを見上げると、疲れも癒され、又日曜日とあって頻繁に通りにかかるハイカーからの”ご苦労様”、”有難う”との声かけに後押しされてこの日の作業を無事終えた。終了後の冷たい一杯の水は甘露・甘露。

作業開始にあたって



枯損木の処理



明るさを取り戻す里山



7月12日(土) 定例活動 <総会> 矢田山遊びの森

午前中は全員で「万葉の森」で下刈り器・カマを使っての下草刈り。暑い最中の作業ながら、植栽木の備やかな成育を願いながら刈り進んだ。

昼休みには、山の畑で育ったもぎたてのトウモロコシを焼いて頬張った。甘さは格別!

午後平成20年度の総会を料理体験館で開催。上田代表により、前年度活動に参加して頂いた方々の労をねぎらい、新しい事業も加わった本年度の一層の支援と参加の要請あり。活動に際しては、原点に戻り作業の安全を第一とすると共に、更なる技術の向上に努めるようにとの挨拶に続いて、予め準備された総会資料をもとに事務局より議案、

1. 平成19年度事業報告・収支決算報告
2. 役員改選
3. 平成20年度事業計画・収支予算

の説明を受け、全て原案通り承認された。

次いで、県が管理する各施設の管理が順次PFI方式で民間委託に移行する流れとなり、その受け皿となるべく当クラブもNPO法人化が必要となる。設立月である来年1月を目処に、資格取

得を目指し準備委員会を立ち上げる故、皆の協力をお願いする旨の説明があった。その他二三の質疑があって総会を終了。

この後、21日の「なら森を育てる県民の集い」のイベント参加のための材料の準備と試作品づくりをして解散。

作業前の道具の手入



焼けたかな？



総会風景



7月21日（月） 「なら森を育てる県民の集い」 主催：奈良県、（財）奈良県緑化推進協会  
奈良県「山の日・川の日」制定記念となるこの日、県下各地の山と川で各種のイベントが開催される中、矢田山遊びの森では各種協賛・協力団体と一般の数百名が参加のもと、「集い」の祭典が執り行われた。

当クラブは、前日の会場設営の手伝い、イベント材料の準備、当日はふれあいイベントとして竹馬・水鉄砲づくり、木エクラフトを担当、終了後の撤収作業を行った。

イベントには多くの子ども達がクラブ員の指導のもと、作品づくりに励み完成後は、早速広場で竹馬の試乗、水鉄砲を使っの風船割りを楽しんだ。首尾良く風船を割って息を弾ませて「割れたよ！」と報告に来てくれた女の子の得意気な笑顔は印象的。

竹馬づくり



挑戦！風船割り



木エクラフト



7月26日（土） 森林作業と工作体験 矢田山遊びの森

「山と森林の月間」協賛イベント

定例活動と平行して行った本イベント、4家族の参加を得て開催。

イベントの趣旨説明を受けた後、各自ヘルメット・軍手を着用、カマを手に「愛の森」植栽地に全員で入った。

作業の要領、注意事項等を聞いて下草刈り（坪刈り）、雑木の除伐を行った。

子ども達はつつい昆虫や野の花に気を取られながらの作業ではあったが、最後は一斉に並んで頑張っ刈り進んでくれたお蔭で、植栽木のまわりの草をきれいに刈取ることが出来た。終了後自然観察を兼ねて「野鳥の森」まで足を延ばした。

午後からは松ぼっくりを使っのフクロウ、クマなど思い思いの作品づくりを楽しんだ。中には非常にユニークなものもあり、子ども達の豊かな発想には驚かされるひとときであった。



下草刈り



雑木の処理



クラフト



8月2日(土) 高取山共生の森(ENEOSの森)整備・保全事業

—緑の募金 中央事業—

新日本石油(株)の家族を含む20数名が参加し、当クラブが指導にあたった。今回の参加者はほとんどが過去の活動の経験者だけに、作業内容・区域、作業上の注意を聞いて、新調なったヘルメットを着用し、直ちに持ち場に分かれ除伐、枝払い、もやかき等の作業を手際良く進めた。この間、希望者にはリーダーの指導の下チェーンソー体験を行った。

午後からは植栽地の下草刈りをし作業を終了。参加者の中でただ一人の子供(女子)には、森林インストラクターでもある当クラブ員がつきっきりで、巣箱づくり・架け、木エクラフト、樹木観察、樹名板付け等盛りだくさんのプログラムと取組んで大いに満足のいく夏の日であったと思う。

林内整備



小鳥さんが来ますように



下草刈り



8月9日(土) 小学生の森林体験と料理体験 矢田山遊びの森

「山と森林の月間」協賛イベント

早々と定員オーバーとなる前に申込みのあった親子づれ50数名が参加。

まず料理体験館で、カレーづくりに取組んだ。子供達が手分けしてジャガイモの皮むき、ニンジン・ジャガイモを適度な大きさに切り分けて仕込み。カレーが煮上がるまでの間、森林作業体験としての草刈りを、カマの使い方、注意等リーダーから説明を受けて近くで実施。その後、食事時に使うマイコップを竹をノコギリで切り、切り口を丁寧にサンドペーパーをかけ作製。食事の準備が整うとこれを手に手に集まり、出来立ての熱いカレーをフーフーしながら美味しくいただいた。

午後からは竹を使ったクラフト。まずジージーぜみづくり。共鳴部分となる和紙を糊付けすると乾かぬうちから早く鳴かせてみたいと逸るの鎮め、次ぎの竹笛づくりに取りかかった。吹き口となる竹の取り付け位置の微調整が必要にて、これに手こずっている者が散見された。最後にアンケートに答えて、おみやげをもらい解散。

夏休みの絵日記の一頁が、思い出で深いものとなれば・・・

皮むき



マイコップづくり



賞味中



8月13日(水)～17日(日) 「森の学校」 葛城山々頂

主催者である中部農林振興事務所より自然観察、クラフトの講師派遣の要請を受け、当クラブから森林インストラクター2名を含む延べ10名が出向いた。

開催中は天候に恵まれ、訪れる親子づれは曳きも切らず予想以上に多くが参加。まず展示パネルを参考に森林環境クイズを通過して、森林の働き・自然環境について学んだ後、竹笛づくり、小枝等を使ったクラフト、葉っぱの標本づくりを楽しんだ。この間開催された自然観察会にも多くが参加、山頂付近の草木についての説明を受けた。

応援に来てくれたモリゾー・キッコロとのふれあい・記念撮影会も盛況だった。

8月23日(土) 小学生森林体験と料理体験 矢田山遊びの森

「山と森林の月間」協賛イベント

9日に引続いて2回目のイベント、生憎の空模様であったが、予め申込みのあった親子づれ30名弱が参加。

子供達は料理体験としてカレーづくりの具(ジャガイモ・ニンジン)の下準備を終えて、ヘルメット、軍手を着用、手にカマを持って森林作業体験の下草刈りを料理体験館近くの補栽地「愛の森」で実施。ほとんどがカマを使うのが初めて故、まず正しく、安全な使い方の説明を聞いて思い思いに散らばって小雨がぱらつく中、草を刈り進んだ。この後、場所を替えて昼食時の飲み物用に竹を切ってマイコップづくり。早く出来た子は余った竹で貯金箱、お皿等づくりに挑戦。揃ってカレーを味わって、午後からはお待ちかねのクラフト。竹を使ってのジージーゼミと笛づくり。完成後は早速作品を使って皆が遊びだし、あちらこちらで竹笛とジーシーゼミの協奏。これを機に一人でも多くの子供が自然を愛し、森林に興味を持ち、又この森を訪れてくれますように。

うまご飯が炊けてるかな



竹コップづくり



下草刈り



間伐及び間伐材の利用促進―「緑の募金」特定公募事業

今年度から新しくスタートした本事業、当クラブは9月24日(水)測量・選木を日笠町の民有林で、又奈良県森林ボランティア連絡協議会では9月27日(土)矢田山で、それぞれ第一回目の活動として、炭材用に雑木の切り出しの準備作業を行った。